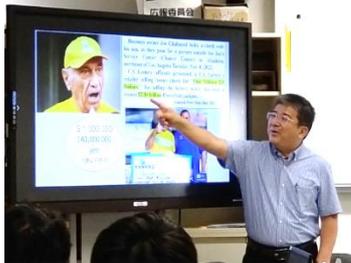


# 英語教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	4 技能を総合的に用いる英語指導法	
日時	令和5年7月31日(月)	
会場	北広島市立西の里中学校	
講師	<p style="text-align: center;">異 徹 氏 (岐阜大学)</p>	
参加者	38名	
研修会 の 様子		<p>講師の異先生は、生徒の言語活動を中心とした授業を組み立てることで生徒の英語力を向上させる研究されています。まず、学習指導要領に記載されている「資質・能力」をどう育成するか理論の部分を説明されました。その中で、なかなか理解の難しい、外国語における「見方・考え方」について、文言を細分化し具体例を示されたので、参加者は理解を深めることができました。</p>
		<p>また、言語活動は何か定義を明確に示されたうえで、その実践例を紹介してくれました。特に、small talk を活用しながら、「見方・考え方」を具現化する導入と問いかけを実際の授業を通して体験する場をつくってくれたお陰で、よりわかりやすいものとなりました。</p>
		<p>異先生は、実際の教科書の題材を使って、教室では具体的にどのような語彙を使い、どのようなリズムで、そして何に留意しながら言語活動を展開していくのか説明されました。参加者はペアワークで自分の考えや予想を交流しながら、思考が深まることを実感することができました。</p>
		<p>英語教師が関心を持っている教科書の扱い方や retelling の指導方法などを提案していただきました。変化をつけて何度も音読したり、インテイクを繰り返すことで retelling のための土台ができあがることがわかりました。またワードカウンターを活用することで生徒の発話力を鍛えることが retelling の成功に欠かせないことが授業中の動画から伝わってきました。参加者はこのシートの効果を改めて認識されたと思います。教科書のオーラルイントロダクションから指し読み、スラッシュ、音読、そして retelling と手順がわかりやすかったと参加者からも好評でした。</p>